

## 2022年度 第2回研究会 プログラム

日時：2022年9月16日（金）13：30～16：35（予定）

開催方法：会場と Microsoft Teams を使用したハイブリッド開催

会場：産総研 臨海副都心センター 別館 11F 会議室

13：30～13：40

開会挨拶

FIoT コンソーシアム 会長 鎌田俊英

<Part 1 技術トレンド・調査解析>

13：40～14：30

「DXのトレンドと推進に向けてなすべきこと」

株式会社 NTT データ経営研究所

デジタルイノベーションコンサルティングユニット長 木村俊一様

概要：現在、急速な勢いで進歩を遂げるデジタル技術の可能性を見極め、活用する「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の実現は、今後の競争力を左右する、大きなテーマです。今回は、世の中が、DXで「何を目指して」、「何をやろうとしているのか」、DXの現在のトレンドや、製造、流通、物流等における事例をご紹介した上で、DX推進に欠かせないケイパビリティ（組織能力）をご説明します。

休憩（10分）

14：40～15：30

「SX（サステナブルトランスフォーメーション）のためのサーキュラーバイオエコノミー」

東京大学大学院 農学生命科学研究科教授 五十嵐圭日子様

概要：持続的な社会への移行（サステナブルトランスフォーメーション、SX）のためには、社会全体をいかに循環型（サーキュラーエコノミー、CE）にできるか、また生物圏に負荷をかけない（バイオエコノミー、BE）ようにできるかが二本柱となっている。環境に対する意識の高い欧州では、2020年までCEとBEの二本柱は別々の方向だと考えられてきたが、循環型にしても生物圏に負荷をかけてしまっは仕方が無いこと、生物圏に負荷をかけないようにすると自ずと循環型になることから、2020年以降は「サーキュラーバイオエコノミー（CBE）」とまとめて考えるべきであろうという考え方に発展している。本講演では、SX達成のためにCBEはどのように広がっていくのか、またその中でデジタルトランスフォーメーション（DX）がどのように貢献していくのかを議論できたらと思っている。

15：30～15：35

今後の予定（12/9開催のシンポジウムについて）

15：35～15：40

講演会閉会挨拶 FIoT コンソーシアム 副会長 一木正聡

休憩（20分）

<Part 2 交流>

16：00～16：30（予定）

産総研 サイバーフィジカルシステム研究棟見学会

16：30～16：35（予定）

見学会閉会挨拶

FIoT コンソーシアム 副会長 山下健一

お問い合わせ先：

FIoT コンソーシアム事務局 (<https://ssrc-fiot.jp>)

(国研) 産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター内

EMAIL: [fiot-official-ml@aist.go.jp](mailto:fiot-official-ml@aist.go.jp)